

津久井総合事務所周辺公共施設再整備に向けた市民検討会  
報告書

令和5年3月

相模原市

# 津久井総合事務所周辺公共施設再整備に向けた市民検討会

## 報告書 目次

1. 開催概要	1
(1) 開催の目的	1
(2) プログラム内容	1
(3) 市民検討会参加者・運営体制	2
2. 各回の市民検討会の概要	4
(1) 第1回市民検討会	4
(2) 第2回市民検討会	12
(3) 第3回市民検討会	20
(4) 第4回市民検討会	28
(5) 第5回市民検討会	35
3. 市民検討会を終えて	42



第5回市民検討会の最後に各回の成果物を背景に参加者の皆さん、芝浦工業大学の志村教授、東京都立大学の朝日教授、芝浦工業大学の学生の皆さんで記念撮影を行いました。

# 1. 開催概要

## (1) 開催の目的

津久井総合事務所は、旧津久井町役場として昭和39年に建設してから築58年が経過し、老朽化による建て替えの検討時期を迎えています。

津久井総合事務所は、津久井地区の行政サービスの中心であり、周辺には津久井保健センターや津久井中央公民館などの公共施設も集まっており、それぞれ施設の利用や建物の老朽化の課題を抱えています。

本市民検討会は、令和4年8月に策定した「津久井総合事務所周辺公共施設再整備基本方針」を踏まえて、津久井総合事務所を中心とした新たな公共施設の具体的な設置場所や導入機能等を定める「津久井総合事務所周辺公共施設再整備基本構想」を策定するに当たり、行政のみでは気付けないような様々な方のアイデアやご意見を伺うために開催するものです。

## (2) プログラム内容

回数	内容
第1回 令和4年 9月3日(土)	<u>○テーマ：目標を共有しよう！</u> <ul style="list-style-type: none"><li>再整備に向けたこれまでの取組と市民検討会の目的の共有</li><li>昨年度の市民対話ワークショップの成果発表、大学生の発表をもとに、どんな場になりたいかイメージする</li></ul>
第2回 令和4年 10月15日(土)	<u>○テーマ：新しい施設の場所を考えよう！</u> <ul style="list-style-type: none"><li>再整備候補地の確認</li><li>対象敷地のメリット・デメリットを考え、どの場所が良いか検討する</li></ul>
第3回 令和4年 11月12日(土)	<u>○テーマ：新しい施設の導入機能を考えよう！</u> <ul style="list-style-type: none"><li>基本方針の5つの視点をもとに、どの場所に、どのような機能が必要か考える</li></ul>
第4回 令和4年 12月10日(土)	<u>○テーマ：新しい施設の導入機能を深めよう！</u> <ul style="list-style-type: none"><li><u>第3回市民検討会で検討した案に対して意見交換する</u></li></ul>

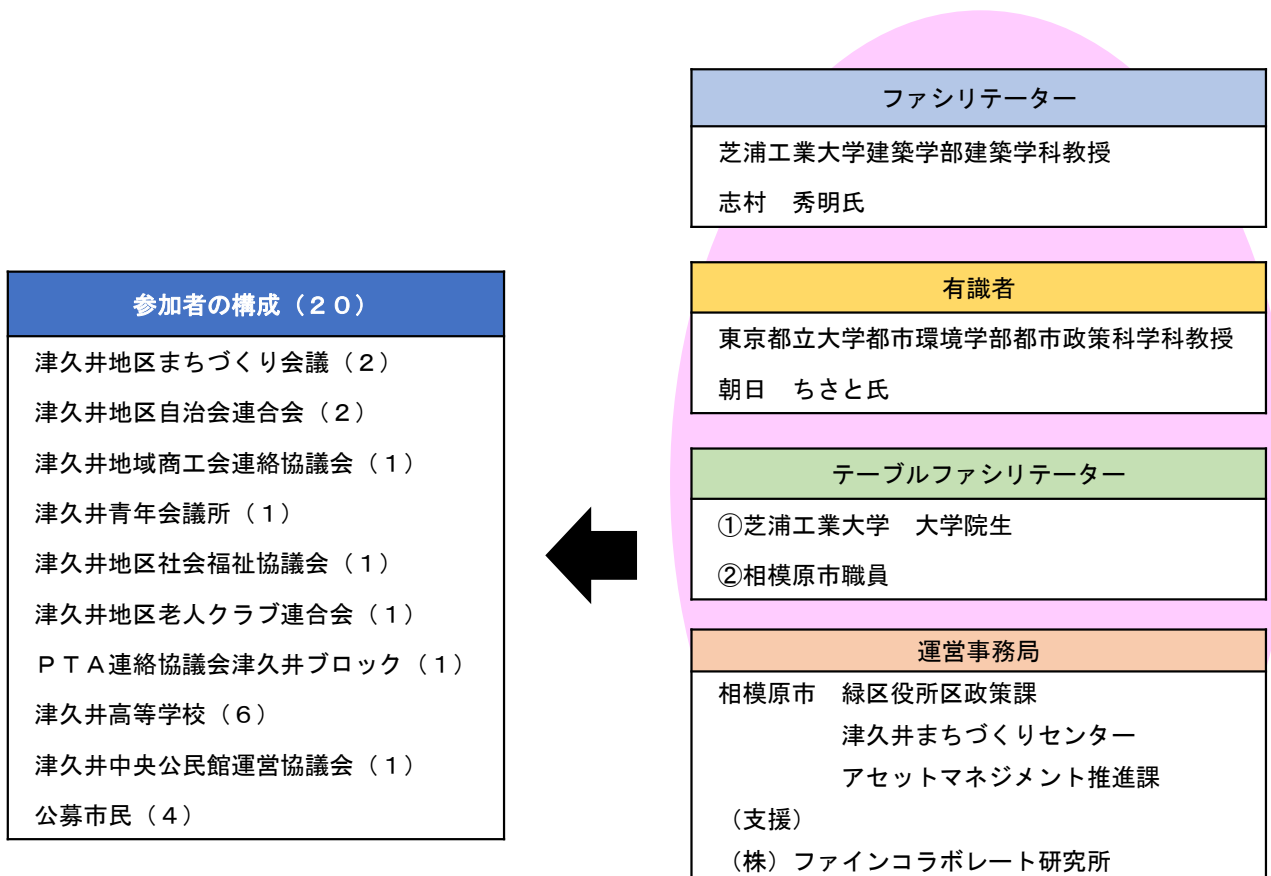
<p>第5回 令和5年 2月18日（土）</p>	<p>○テーマ：市民検討会の案を確認しよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回から第4回までの検討内容を振り返る</li> <li>市が作成したイメージ案について意見交換する</li> </ul>
----------------------------------	--

### （3）市民検討会参加者・運営体制

#### ア 参加者の構成と運営体制

今回の市民検討会は、地域団体や関連団体からの推薦のほか、津久井高等学校の生徒、施設利用者、一般公募など、様々な立場や世代の方に参加してもらいました。

参加者をA～Cの3グループに分け、グループワークを行いました。



## イ ファシリテーター、芝浦工業大学学生の紹介

### ○ファシリテーター

志村 秀明 教授

1968年東京都生まれ

芝浦工業大学

建築学部建築学科教授

博士（工学）、一級建築士

専門分野：まちづくり、市民参加、都市計画



### ○芝浦工業大学学生（地域デザイン研究室）

1	芝浦工業大学大学院生 1年	三田 怜海
2	芝浦工業大学大学院生 1年	武田 恵
3	芝浦工業大学大学院生 1年	峯村 溪太
4	芝浦工業大学大学院生 1年	野呂 祐輔

## ウ 有識者の紹介

朝日 ちさと 教授

1972年東京都生まれ

東京都立大学

都市環境学部都市政策科学科教授

博士（都市科学）

専門分野：環境経済学／都市地域経済学、  
政策評価、費用便益分析



## 2. 各回の市民検討会の概要

### (1) 第1回市民検討会

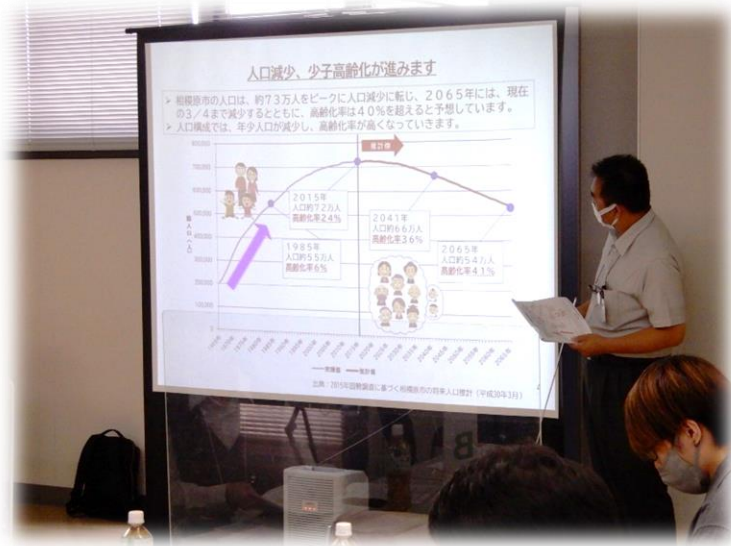
- ◆ テーマ 「目標を共有しよう！」
- ◆ 開催日時 令和4年9月3日(土) 14時00分～16時30分
- ◆ 開催場所 津久井総合事務所3階 会議室1・2
- ◆ 参加者 14名
- ◆ プログラム

時間	内容
14:00～14:15 (15分)	<あいさつ> ・主催者のあいさつ&参加者のあいさつ
14:15～14:45 (30分)	<市からの説明> ・津久井総合事務所周辺公共施設再整備に向けたこれまでの取組 (現状と課題、市民対話ワークショップ、基本方針) ・市民検討会の目的と狙い、スケジュール
ワーク：ファシリテーター 芝浦工業大学建築学部建築学科 志村秀明 教授	
14:45～15:00 (15分)	<昨年度の成果発表> ・昨年度A・B・Cグループの内容を昨年度参加者から説明
15:00～15:15 (15分)	<大学生からの発表> ・真下さんの卒業設計を発表
15:15～15:50 (35分)	<グループワーク>【新しい施設での活動をイメージしてみよう】 基本方針、真下さんの卒業設計などをみて、新しい施設で自分たちがやってみたいこと、出来るようにしたいことを書いてみる ・ファシリテーター・学生から作業の流れを説明(5分) ・個人でやりたいことをカードに書く(10分) ・グループ内で共有し、意見を発展させる(10分) ・グループ内で意見をまとめる(10分)
15:50～16:00 (10分)	<休憩>
16:00～16:15 (15分)	<発表・意見交換> ・グループごとに発表、質疑応答と意見交換(5分×3グループ)
16:25～16:30 (5分)	<連絡事項> ・次回の内容、事務連絡

## ア 当日の流れ

### (ア) 市からの説明

市から、津久井総合事務所周辺公共施設再編に向けたこれまでの取組、市民検討会の目的と狙い、スケジュール等を説明しました。



### (イ) 芝浦工業大学学生からの発表

昨年度の大学生の取組について発表しました。

#### 【内容】

- ・ 大学自主研究成果「【中野の歴史と変遷】(近世/近代/現代)、【空間分析】(地形とダム)、【中野の魅力】(楽しく歩いて人々が集う中野マップの作成)」について
- ・ 芝浦工業大学地域デザイン研究室4年生真下さんの卒業設計「公共性を育む」(津久井総合事務所周辺公共施設再編案)について



### (ウ) グループワーク

市からの説明や大学生からの発表を参考に、新しい施設で「あったらいい場所・もの」「やってみたいこと」「気になること」などを意見カードに記入し、どんな場所にしていきたいかの目標をグループ内で共有しました。



### (エ) 発表・意見交換

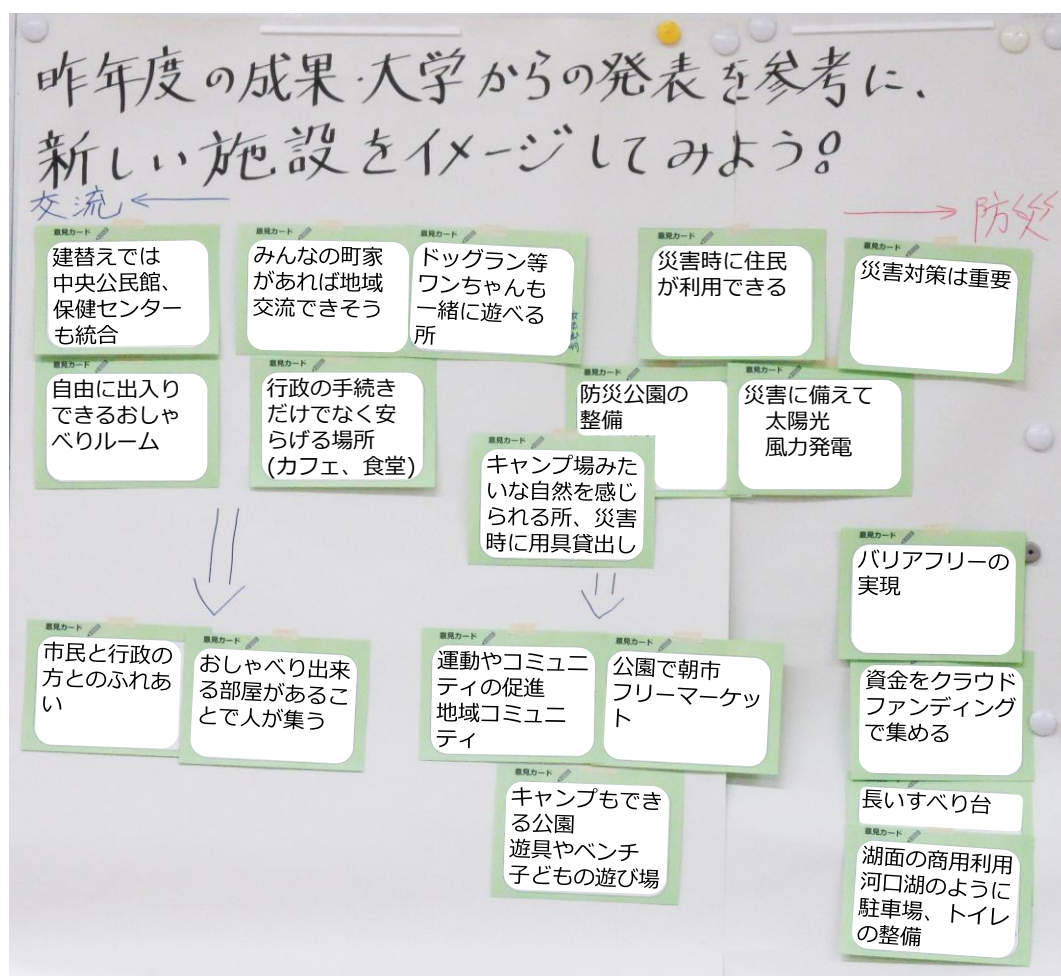
グループごとにまとめた施設のイメージを、模造紙に貼った意見カードをもとに発表しました。





## イ 各グループの成果

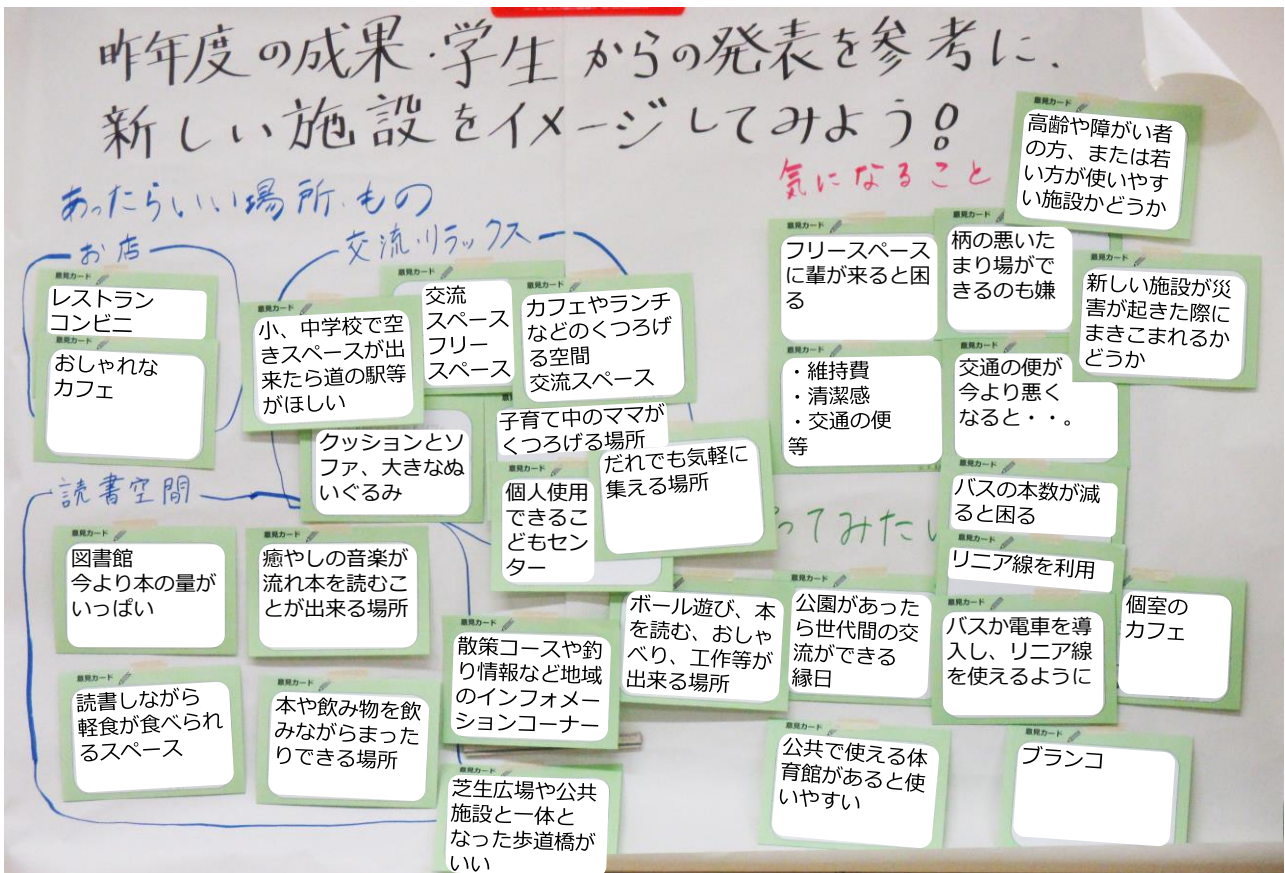
### Aグループ



#### <主な発表内容>

- 旧津久井町の中心、建て替えに当たって**中央公民館、保健センターも統合**。
- 自由に入出りできる**おしゃべりルーム**。
- **みんなの町家**があったら地域交流できて若い人とかが集まりそう。
- **ドッグラン**等ワンちゃんも一緒に遊べるところがあったら良いと思う。
- 行政の手続きだけでなく**市民が安らげる場所**。
- **市民と行政**の方との**ふれあい**も増え、あたたかな交流が出来る。
- おしゃべり出来る部屋があることによって人が集う、**コミュニティの場**になる。
- **災害時**に住民が利用出来る。平時は公園、災害時は緊急避難できるような**防災公園**。
- 長いすべり台とか長く遊べる遊具があれば遊びに困らない。

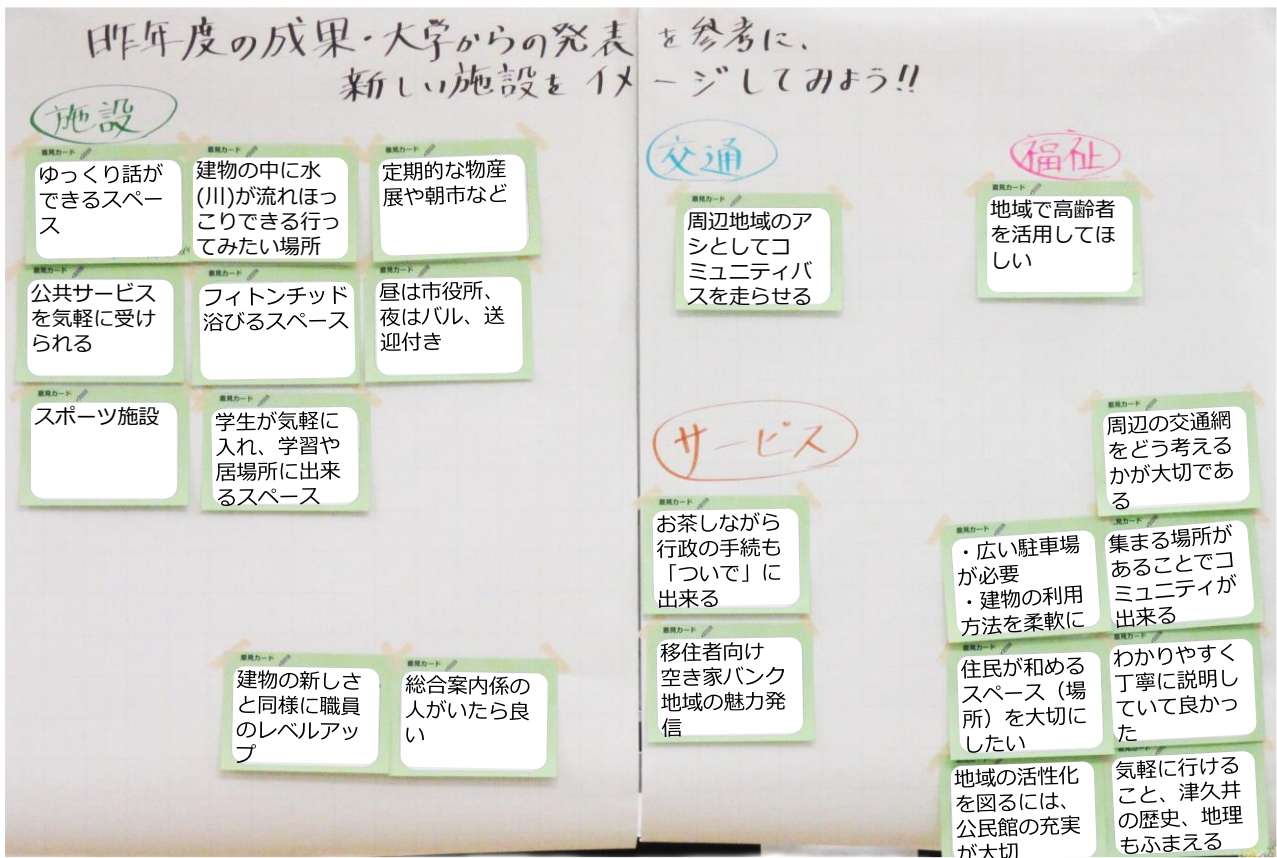
## Bグループ



### <主な発表内容>

- ・ レストラン、コンビニ、おしゃれなカフェ、肌触りが良い50cmぐらいの大きさのぬいぐるみ。
- ・ 老若男女関係なく楽しめる交流スペースがほしい。
- ・ 子育て中のママ達がかつろげる場所。
- ・ ふらっと来てボールで遊んだり、本を読んだり、友だちとおしゃべりしたり、他にも**工作**や**料理**、**音楽**などいろいろなことができるみんなの居場所。
- ・ **散策コース**や**釣り情報**など地域インフォメーションコーナーの充実。
- ・ 個人使用できる**子どもセンター**（町田のぱお）みたいな施設。
- ・ ブランコ。
- ・ 読書をしながら軽食が食べられるスペース。

## Cグループ



### <主な発表内容>

- ・ 個人、集団にかかわらず、ゆっくり話ができたり語り合うスペースのあるコーナー。
- ・ **建物の中に水(川)**が流れて周囲の人がほっこりできる、行ってみたい場所になると良い。
- ・ **駐車場**も大きく確保できる広場(スペース)を作り、定期的に**物産店**や、**朝市**など集まる場があれば良い。
- ・ 公共サービスを気軽に受けられる。(コンシェルジュ・タッチパネル・在宅相談できる等)
- ・ 津久井の良さを生かした建物。
- ・ 自由度の高いスペース(多用途・可変的)、誰でも入れる**コミュニティスペース**。
- ・ 学生が**気軽に入れ**、学習や、居場所に出来るスペース。

### 〈志村先生〉

- 世代を越えて目標を語り合うことが出来て良かったと思います。
- 津久井と中野地区は課題もありますが、歴史や文化、地形も含め興味深い地域であると感じています。地区の良さが発揮できる公共施設になると良いと思っています。
- 都心開発、地域の空洞化、高齢化等で各地区の個性が無くなっている中で、この地区はすごく良いものがあります。それが活かされる公共施設ができると良いと思います。
- 公共施設は市が作って終わりではなく、公共性が形成されていく場所であり、市民が何かやろうとならないと公共性は生まれません。公共性が育まれるような施設ができることを期待します。



### 〈朝日先生〉

- 公共施設をどうしていくかを考える時に何を望むかが根源的なエネルギーだと思います。色々な制約がある中で、民間の知恵ある方とやっぺいこう、デジタルもやってみよう、もしダメならどんどん変えていこうなど知恵を出しながらではありますが、基本的に何がやりたいか、やってみたいかがパワーとして大事となります。
- 社会資本の面からの意見として、人的資本と自然資本との関係が大事なのですが、両方の面から意見がたくさん出ていたため、私も勉強になりました。



### 緑区長からのあいさつ

- 公共施設の多くは、高度経済成長期の人口急増期に建設したものであり、築 50 年前後となり老朽化が進み、建替えの時期を迎えています。
- これから人口が減少し、財政状況も考えるとそのまま建設し直すのではなく、集約化やどのような機能を持たせるかなどを考えていかなければなりません。
- 総合事務所と周辺の公共施設をどのように集約していくのか、必要な機能は何かを皆さまに話し合っただきながら進めていきたいと考えています。
- これから整備する施設は地区のシンボルになると思うので、将来のまちづくりをイメージしながら皆さまと一緒に考えていきたいと思ひます。



## (2) 第2回市民検討会

- ◆ テーマ 「新しい施設の場所を考えよう！」
- ◆ 開催日時 令和4年10月15日(土) 14時00分～16時30分
- ◆ 開催場所 津久井総合事務所3階 会議室1・2
- ◆ 参加者 15名
- ◆ プログラム

時間	内容
14:00～14:03 (3分)	<あいさつ> ・有識者(志村教授、朝日教授)からのあいさつ
14:03～14:25 (22分)	<市からの説明> ・第1回市民検討会の振り返り ・新しい施設の場所(候補地)について
ワーク：ファシリテーター 芝浦工業大学建築学部建築学科 志村秀明 教授	
14:25～15:30 (65分)	<グループワーク>【新しい施設の場所を考えよう！】 ・ファシリテーター・学生から作業の流れを説明(5分) ・地図に直接意見を書き込む(15分) ・グループ内で意見をまとめる(25分) ・まとめシートに意見をまとめる(20分)
15:30～15:40 (10分)	<休憩>
15:40～15:55 (15分)	<学生からの発表> ・再編案について
15:55～16:15 (20分)	<発表・意見交換> ・グループごとに発表、質疑応答と意見交換
16:15～16:25 (10分)	<第2回市民検討会のまとめ> ・有識者からの講評
16:25～16:30 (5分)	<連絡事項> ・次回の内容、事務連絡

## ア 当日の流れ

### (ア) 市からの説明

市から、新しい施設を整備する場所（候補地）について説明しました。

#### 【内容】

- ・相模原市立地適正化計画における都市機能誘導区域の考え方を踏まえ、津久井総合事務所を中心とした公共施設は中野エリアに再整備する。
- ・施設規模については、再編検討対象候補施設の延床面積の20%削減を目標とする。



### (イ) 芝浦工業大学学生からの発表

自主検討として作成した、3つの敷地の利用案について発表しました。

#### 【内容】

昨年度実施した第3回市民対話ワークショップでまとめた3つのテーマをもとに、敷地の利用案を作成し、「他施設との連携」「防災」「地区特性」「コスト」の4つの視点で比較検証を行った。



## (ウ) グループワーク

### ①新しい施設を建てる敷地を考える

新しい施設を建てる候補となる敷地の地図を見ながら、その敷地に建てた場合のメリット・デメリットをグループ内で話し合い、地図に書き込みました。



### ②選定した敷地について考える

メリット・デメリットを再編に向けたキーワードである「機能性」「利用しやすさ・やさしさ」「防災・災害」「自然環境」「交流・賑わい」に整理し、敷地の活用の仕方、敷地同士のつながり、地域の中での建物のあり方など、色々な視点でアイデアを出し合い、新しい施設の場所について考えました。





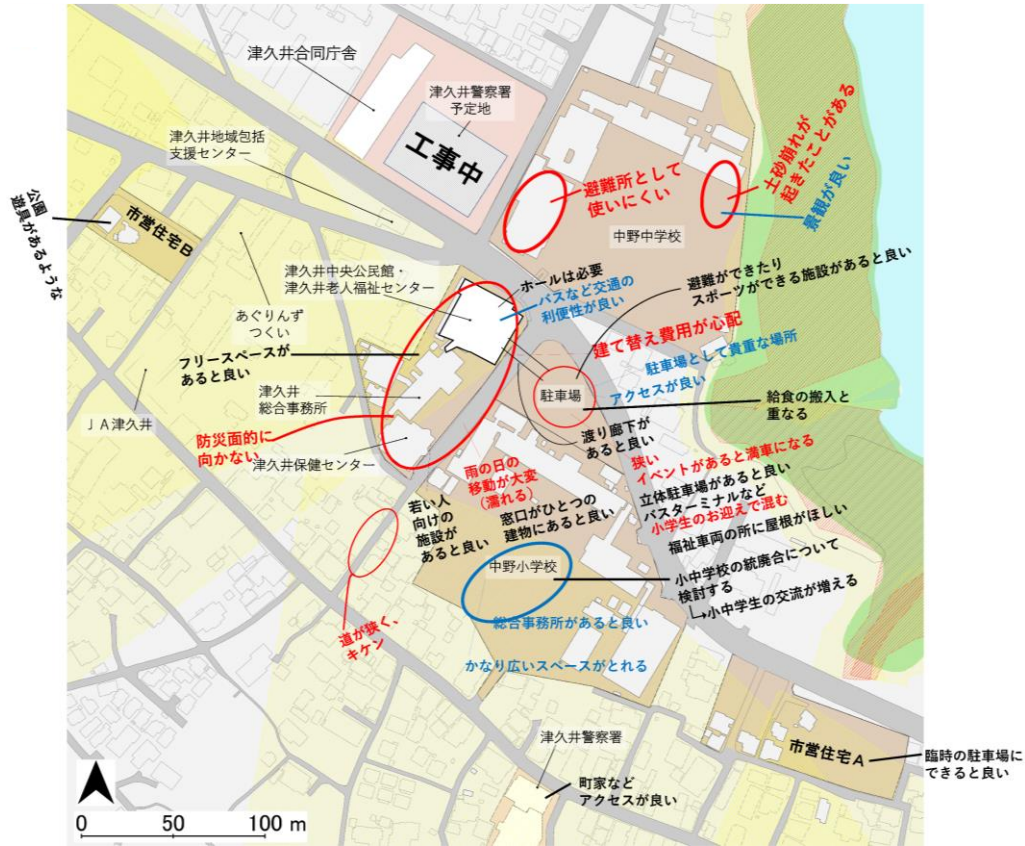
## (エ) 発表・意見交換

グループごとにまとめた候補となる敷地の案と、その敷地から考えられるメリット・デメリットを発表しました。





## Bグループ



	メリット	デメリット	現状敷地	駐車場	学校
機能性			<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街から入ってくる道が狭い、危険(車と人、車と車すれ違い)</li> <li>駐車場が狭い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの建物も小さく細分化</li> <li>→雨の日の移動が大変</li> <li>多目的に活用している・学校の送迎・総合事務所他のイベント、会議 etc</li> <li>小学校の給食搬入スペースと重なる</li> <li>駐車場はそのままにし、中野小に総合事務所を移転した際そのまま利用できる場所狭いので建物はムリ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>角地なので道路からのアクセスがしやすい</li> <li>中野小は駐車場と合わせると、かなり広いスペースが取れる</li> <li>中野小の裏は景観が良い</li> <li>中野小学校・総合事務所を移転するのに良い但し、中野中と統合する必要あり</li> </ul>
利用しやすさ・やさしさ			<ul style="list-style-type: none"> <li>バブリックな交通手段であるバスの運行数も多く、停留所が近い</li> <li>総合事務所、公民館、保健センターが近くにあり、利便性が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健センター・総合事務所・公民館・老福センター</li> <li>→まとめて使いやすい</li> <li>利用目的がよくわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>津久井総合事務所 場所は良い</li> <li>道が狭い</li> <li>小学校の通学路が狭い</li> </ul>
防災・災害			<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所に(広さ的に)なる</li> <li>避難所がお粗末</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>津久井総合事務所 建て替え費用がかかる</li> <li>ハザードマップで防災拠点に向かない</li> <li>土砂災害区域になっていて危ない</li> <li>土砂災害が起きた場合に避難はどうする？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中野中はハザードマップ上は問題なく広い。</li> <li>広さではここ？</li> </ul>
自然環境			<ul style="list-style-type: none"> <li>外に出ると緑が見えるが、自然景観が生かされていない</li> </ul>		
交流・賑わい			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域性と少子化が進む小中学校の統合をすべき</li> <li>目的別の建物のため、スペースにあそびがなく、交流・ゆとりが生まれない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中野小学校、中野中と統合する必要あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中野中学校、中野小と統合する必要あり。湖に近いので地盤が弱いのでは、総合事務所は防災上ムリでは。</li> </ul>

## Cグループ



	メリット	デメリット	現状敷地	駐車場	学校
機能性				新庁舎を現在の中央公民館と駐車場をつないで建てることを検討する。	人口統計調査をして、小学生のこれからの人数を調べてもらい、結果縮小の可能性があれば総合事務所の一部として使用する
利用しやすさ・やさしさ			中野地区の中心であり交通の便が良い バスから近くなので便利(三井地区のバスはバイパスを通るので)	駐車場の土地を残しつつ、2階より上に新しい公共施設を作る 駐車場として使っている場所。代わりの場所もそれなり以上の場所が必要	先を考えたら、小中一貫校もあるのかもしれないですが、総合事務所の建て替え予定時期にあってこない気が・・・。(現状)
防災・災害			土砂災害警戒区域であること イエローゾーンにかかっているが総合事務所として建て替えられるのか(立地条件)	土砂災害警戒区域になっているのは、心配 庁舎が土砂災害警戒区域から減らせるような	現状の給食車の入口だと、もしかしたら出入りが不便になるか?
自然環境					
交流・賑わい					

## 第2回市民検討会のまとめ

### 〈志村先生〉

- 場所や位置を考えるのは難しいかと思いましたが、沢山の意見が出て、また意見の中身についてもバス交通やホールなどの話もあり、良い意見交換だったと思います。
- 施設を集約するとなると、イエローゾーンの災害リスクを極力避けることが、重視するポイントだと思います。しかし、他にも地域特性を踏まえるなど、色々な評価軸がある複雑解の問題です。
- 時間軸やコストの事を考えると現実的に難しい所があるので、全てを一度に進めるのではなく、何を選ぶかが重要だと思います。
- これまでの意見交換を大切にして、ハードの施設だけでなく、色々なアイデアを大切にしていきましょう。



### 〈朝日先生〉

- 市の行政上の制約もありますが、そういう枠組みの中で検討して解答を出そうとすると、多様な基準や立場があるためトレードオフの考えが必要になります。
- 最終的には意思決定をしますが、そのために色々なアイデアを可視化することで、どこで落ち着くかを考えることができます。
- 地域のどのような特徴や価値にウェイトがあるかを考え、譲れない基準を考えると知恵が出るので、その基準から評価することが大切です。



### (3) 第3回市民検討会

- ◆ テーマ 「新しい施設の導入機能を考えよう！」
- ◆ 開催日時 令和4年11月12日(土) 14時00分～16時30分
- ◆ 開催場所 津久井総合事務所3階 会議室1・2
- ◆ 参加者 9名
- ◆ プログラム

時間	内容
14:00～14:03 (3分)	<あいさつ> ・有識者からのあいさつ
14:03～14:20 (17分)	<市からの説明> ・第2回市民検討会の振り返り ・第3回以降の進め方 ・導入機能について
ワーク：ファシリテーター 芝浦工業大学建築学部建築学科 志村秀明 教授	
14:20～15:30 (70分)	<グループワーク>【新しい施設の導入機能を考えよう！】 ・ファシリテーター・学生から作業の流れを説明(5分) ・地図上に機能カード配置(40分) ・配置した機能カードを踏まえて模造紙に意見をまとめる(25分)
15:30～15:40 (10分)	<休憩>
15:40～15:55 (15分)	<学生からの発表> ・導入機能について
15:55～16:20 (25分)	<発表・意見交換> ・グループごとに発表、質疑応答と意見交換
16:20～16:25 (5分)	<第3回市民検討会のまとめ> ・有識者からの講評
16:25～16:30 (5分)	<連絡事項> ・次回の内容、事務連絡

## ア 当日の流れ

### (ア) 市からの説明

第2回市民検討会の振り返りと、第3回以降の進め方を確認し、市から導入機能の考え方について説明しました。



### (イ) 芝浦工業大学学生からの発表

対象敷地に対する導入機能について発表しました。

#### 【内容】

次の3案についてメリット・デメリットを整理した。

- ・ A案：「極力既存施設リノベーション案」

現在の中央公民館、保健センターをリノベーションして活用し、総合事務所は駐車場に移設する案

- ・ B案：「津久井総合センター案」

すべてを1棟に集約する案

- ・ C案：「道路付け替え案」

総合事務所と駐車場の間の道路を西側に付け替えて、土地を一体化して活用する案



## (ウ) グループワーク

前回の検討内容をベースに機能を配置して、機能同士のつながりを考えました。

新しい施設に導入したい機能・規模・階数等を、現状の施設や機能の大きさを参考にしながら機能カードで大きさを考え、地図上に配置して新しい施設の規模を表現しました。

検討に当たっては、基本方針に掲げる5つの方針（視点）（※）やこれまでの検討も参考にして意見を出し合い、最後に模造紙へ各施設に導入する機能の具体的な内容と配慮すべきことをまとめました。

※交流・賑わい／防災・災害／機能性／利用しやすさ・やさしさ／自然環境



## (エ) 発表・意見交換

機能カードを配置した敷地の図面と各施設に導入する具体的な内容、配慮すべきことをまとめた模造紙を使い、グループの意見を発表しました。

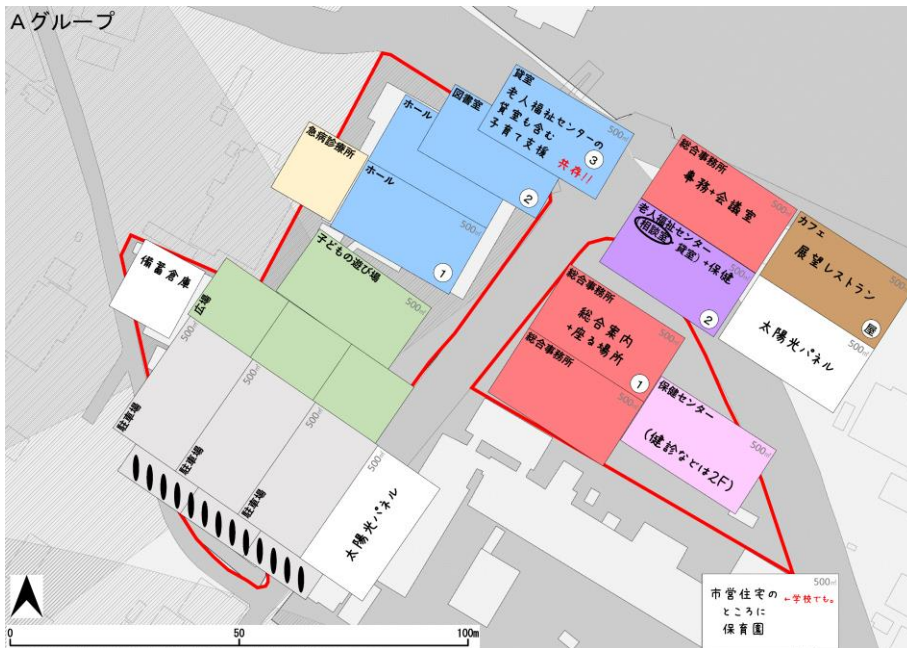




イ 各グループの成果

Aグループ

Aグループ		各施設に導入する具体的な内容	配慮すべきこと
津久井総合事務所 (窓口)	総合事務所 500㎡	別館も統合 1Fが良い コピー機 住民票などは1F 総合案内+座る場所 土木・下 は2F以上 が良い	駐車場確保スペースあるか、高齢者に配慮 わかりやすい案内 インフォメーションセンター バリアフリーは必要 レイアウト 住民が開けるのは1F
津久井中央公民館 ホール、貸室、図書室	ホール 貸室 図書室 500㎡	・ホール(1Fに確保) ・貸室(老人、子育て にも使える) ・老人福祉センターは 分離させる ・図書室(2F) 災害時に本を守る	・図書室は広く、読書スペースも必要 老人福祉センターと共存 ・照明が明るめ リノベ時は照明を明るく
津久井老人 福祉センター	老人福祉 センター (相談室 ・貸室) 500㎡	・公民館の1Fへ相談室 OR ・公民館と建物を変える(分ける)	
津久井 保健センター	保健 センター 500㎡	・手続きは1F ・健診室は2F	エレベーターは必要(2台)
相模原西メディカル センター急病診療所	急病診療所 500㎡	・1Fに配置(公民館)	
駐車場	駐車場 500㎡	・立体駐車場(2Fにしてスペース確保) ・土砂の壁にもなる(防災)子どもも守れる	
その他	カフェ 広場 子どもの 遊び場 500㎡	駐車場分も確保 展望 レストラン コンビニ カフェ→新庁舎屋上 子どもの遊び場→公民館すぐとなり	太陽光発電スペースをつくる 環境にもやさしい 施設で生み出した 電気をつかう 設置する必要あり (自家消費型) ・避難所も必要(ホールを兼用させる)



<主な発表内容>

- 1階に総合案内と座る場所を作る。
- 新庁舎屋上に展望レストランを設ける。
- 住民票などは1階で取得できるようにする。
- 図書室を2階にすることで災害時に本が守れるようにする。
- 図書室はスペースを広くして読書スペースも設ける。
- 公民館はリノベーションを行い駐車場敷地に新庁舎を新築する。
- 避難所も必要。(ホールと兼用する。)

## Bグループ

Bグループ	各施設に導入する 具体的な内容	<small>・貸室系 ・手続系 ・保健系</small> 配慮すべきこと
津久井総合事務所 (窓口)	インフォメーション(案内所) 手続系まとめた窓口	・バリアフリー ・市民利用が多い課は行きやすい場所に ・窓口には貸室の手続きも
津久井中央公民館 ホール、貸室、図書室	・公民館の機能+カフェ ・何にでも使える多目的室	・貸室の窓口は総合案内で ・展示スペース(貸室)は残す
津久井老人 福祉センター	メディカルセンターに移設(案)	貸室の一部として、 老人福祉センターの部屋
津久井 保健センター		高齢者に配慮、窓口の近く
相模原西メディカル センター急病診療所	相模原赤十字病院と統合(案) →今の場所のまま	
駐車場	立体駐車場、第一・第二駐車場 バスターミナル(バスベイ)	増やしたい(イベント時足りない) 公共交通・車利用しやすく
その他 ・カフェ ・広場 ・遊び場 ・保育園 ・多目的室	3Fに広めにとる	1F ・カフェ ↔ 図書室近くに ・広場でもあり、子どもの遊び場 ・展示ができる広さ、常時使用可

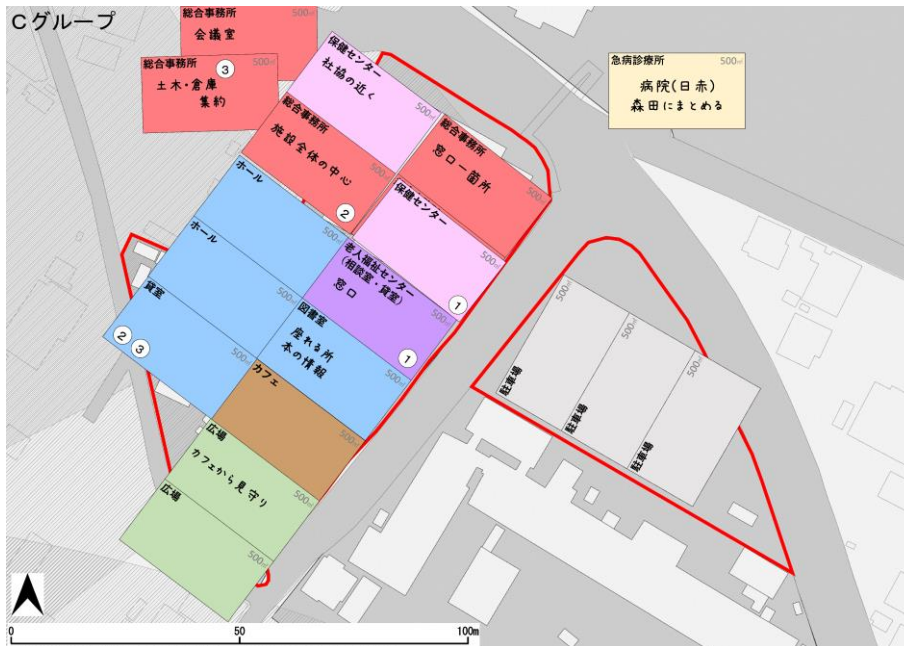


### ＜主な発表内容＞

- 手続系の窓口は一つにまとめる。
- 駐車場を立体駐車場に建て替える。
- 西メディカルセンターは相模原赤十字病院と統合する案はどうか。
- 多目的室を3階に配置してスペースを広めにとる。
- 現総合事務所敷地に施設をまとめる。
- 市民利用者が多い課は行きやすい場所に配置する。
- 新庁舎はバリアフリーを取り入れる。
- 広場でもあり子どもの遊び場でもある場所を作りたい。

## Cグループ

Cグループ	各施設に導入する 具体的な内容	配慮すべきこと
津久井総合事務所 (窓口)	カフェ 倉庫の共有 倉庫・土木を集約 保健センターを近くに 会議室	施設全体の中心 窓口を1箇所に 土木等の窓口対応少ない課は3階へ
津久井中央公民館 ホール、貸室、図書室	座れる場所、本の情報 貸室にも窓口 ホールを新設	カフェの近く 土砂災害に強い建物
津久井老人 福祉センター	図書室の近く 貸室の窓口 子どもが集まる場所の近く	
津久井 保健センター	総合事務所の窓口の近く 老福の近く	社協の近く 老福との導線
相模原西メディカル センター急病診療所	相模原赤十字病院とまとめる (もしくは森田病院)	
駐車場	そのままの場所	
その他 ・カフェ ・広場 ・遊び場 ・保育園	カフェから見守れる場所に広場	子どもを見守る 本を読めるカフェ

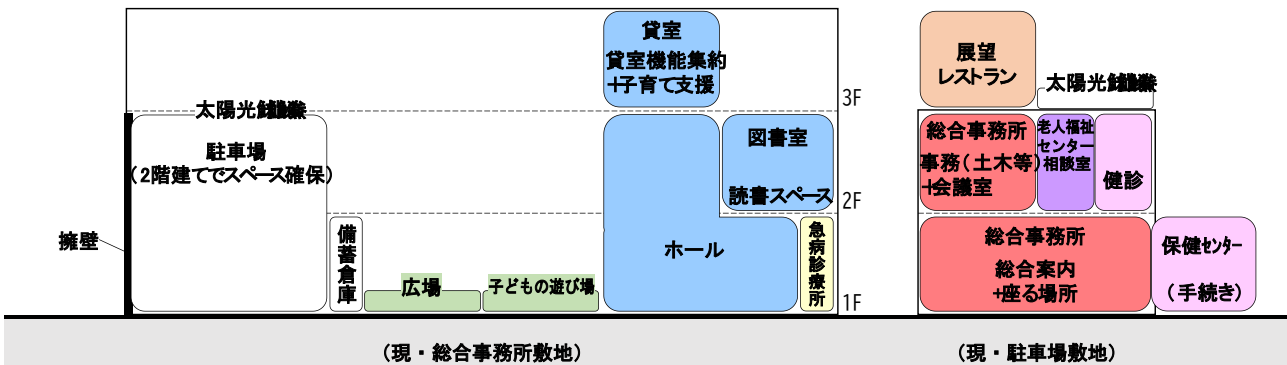


### <主な発表内容>

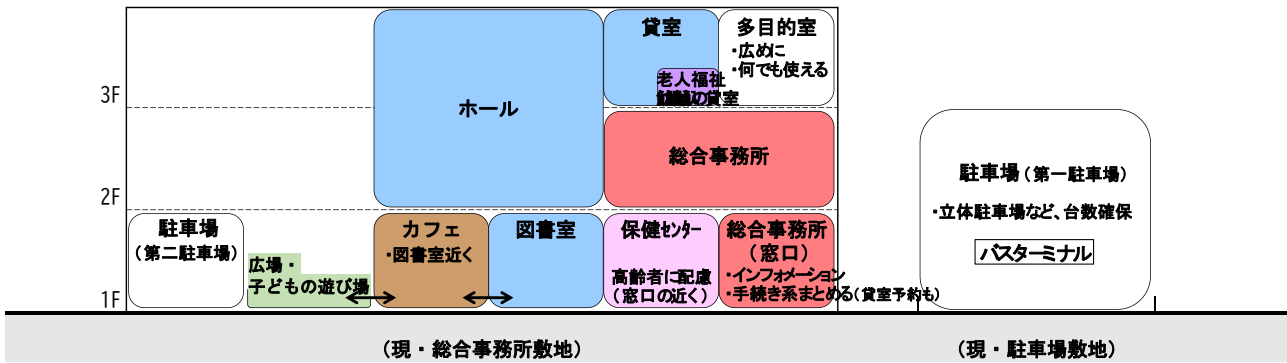
- 保健センターを総合事務所の窓口の近くに配置する。
- ホールを新設する。
- 西メディカルセンターを相模原赤十字病院とまとめるのはどうか。
- 現総合事務所敷地に施設をまとめる。
- 総合事務所は施設全体の中心にしたい。
- 窓口を1箇所に、土木等の窓口対応が少ない課は3階へ配置する。
- 子どもを見守れて、本を読めるカフェがあると良い。

ウ 各グループの検討結果を図式化しました

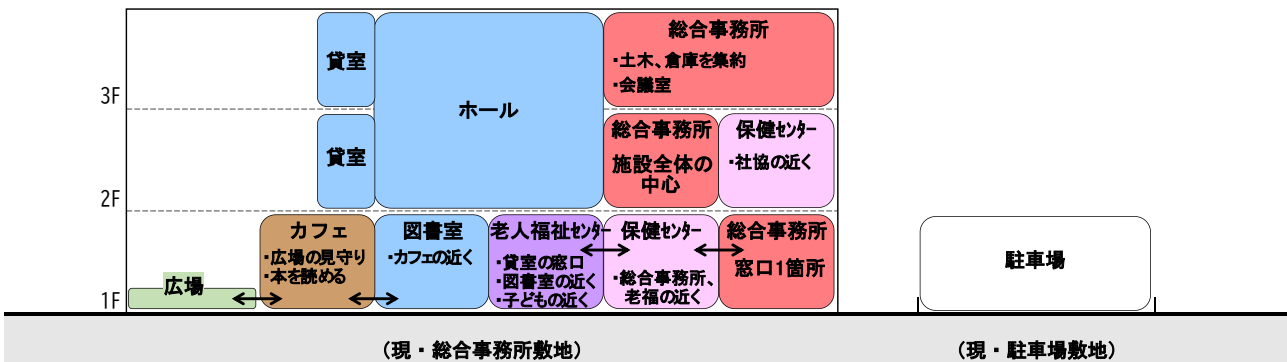
## Aグループ



## Bグループ



## Cグループ



#### 〈志村先生〉

- 機能をどのように導入していくか、配置を考えるのは難しかったと思いますが、頭をひねって1つの問題を解いていくのはなかなか面白かったのではないのでしょうか。
- 今日は残念ながら参加者が少なかったですが、次回はワールドカフェ方式で、3つの案をさらに深めたり、調整することで今回欠席された方の意見も入っていきます。
- 案がまとまってくると抜け落ちてしまうアイデアもありますが、市民の発想は今後のまちづくりに生きるもので、盛り込めなかったアイデアの中にもまちを良くするために大切なポイントがあったりします。再編案にはそうした皆さんから出たアイデアも整理して盛り込んでいければと思っています。



#### (4) 第4回市民検討会

- ◆ テーマ 「新しい施設の導入機能を深めよう！」
- ◆ 開催日時 令和4年12月10日(土) 14時00分～16時30分
- ◆ 開催場所 津久井総合事務所3階 会議室1・2
- ◆ 参加者 11名
- ◆ プログラム

時間	内容
14:00～14:05 (5分)	<あいさつ> ・有識者(志村教授・朝日教授)からのあいさつ
14:05～14:15 (10分)	<市からの説明> ・第3回市民検討会の振り返り
ワーク:ファシリテーター 芝浦工業大学建築学部建築学科 志村秀明 教授	
14:15～15:35 (80分)	<グループワーク>【新しい施設の導入機能を深めよう!】 ・ファシリテーター・学生から作業の流れを説明(5分)  ●シャッフルした3班に分かれてワールドカフェ開始 ・1グループ目(20分) ・2グループ目(20分) ・3グループ目(20分) ●元のグループに戻って、みんなで再確認(15分)
15:35～15:45 (10分)	<休憩>
15:45～16:00 (15分)	<学生からの発表>
16:00～16:20 (20分)	<発表・意見交換> ・グループごとに発表、質疑応答と意見交換
16:20～16:25 (5分)	<第4回市民検討会のまとめ> ・有識者(志村教授・朝日教授)からの講評
16:25～16:30 (5分)	<連絡事項> ・次回の内容、事務連絡

## ア 当日の流れ

### (ア) グループワーク

くつろいでいるような雰囲気の中で場所を変えながらリラックスして話し合いをすることで、新たな発想が生まれることが期待できるワールドカフェ形式で、意見交換を行いました。

前回までのグループをシャッフルして作った3つの班に分かれ、前回の市民検討会で検討した案について「良いところ」「気になるところ」「新しいアイデア」を付せんを書いて貼っていきました。



## (イ) 芝浦工業大学学生からの発表

実現させたい機能・交流シーンをスケッチにして発表しました。

### 【内容】

これまでの市民検討会で出てきた意見をイメージ化するために、実現させたいポイントを次の7つに整理し、スケッチにした。

- ①総合窓口 ②広場 ③広場に面したカフェ ④広場の活用方法
- ⑤ホール ⑥図書館・学習スペース ⑦展示コーナー



## (ウ) 発表・意見交換

前回までのグループに戻り、出た意見について話し合い、前回検討した案を再確認し、グループとしての意見を発表しました。





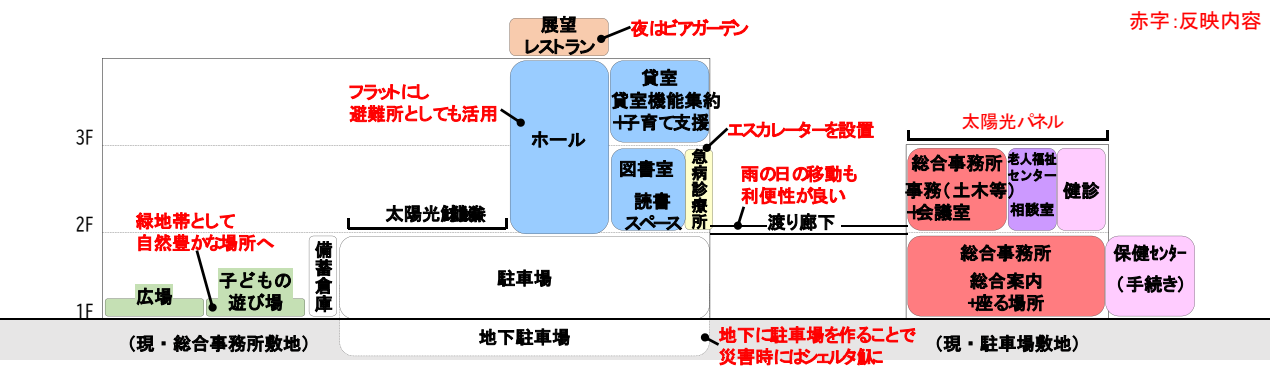
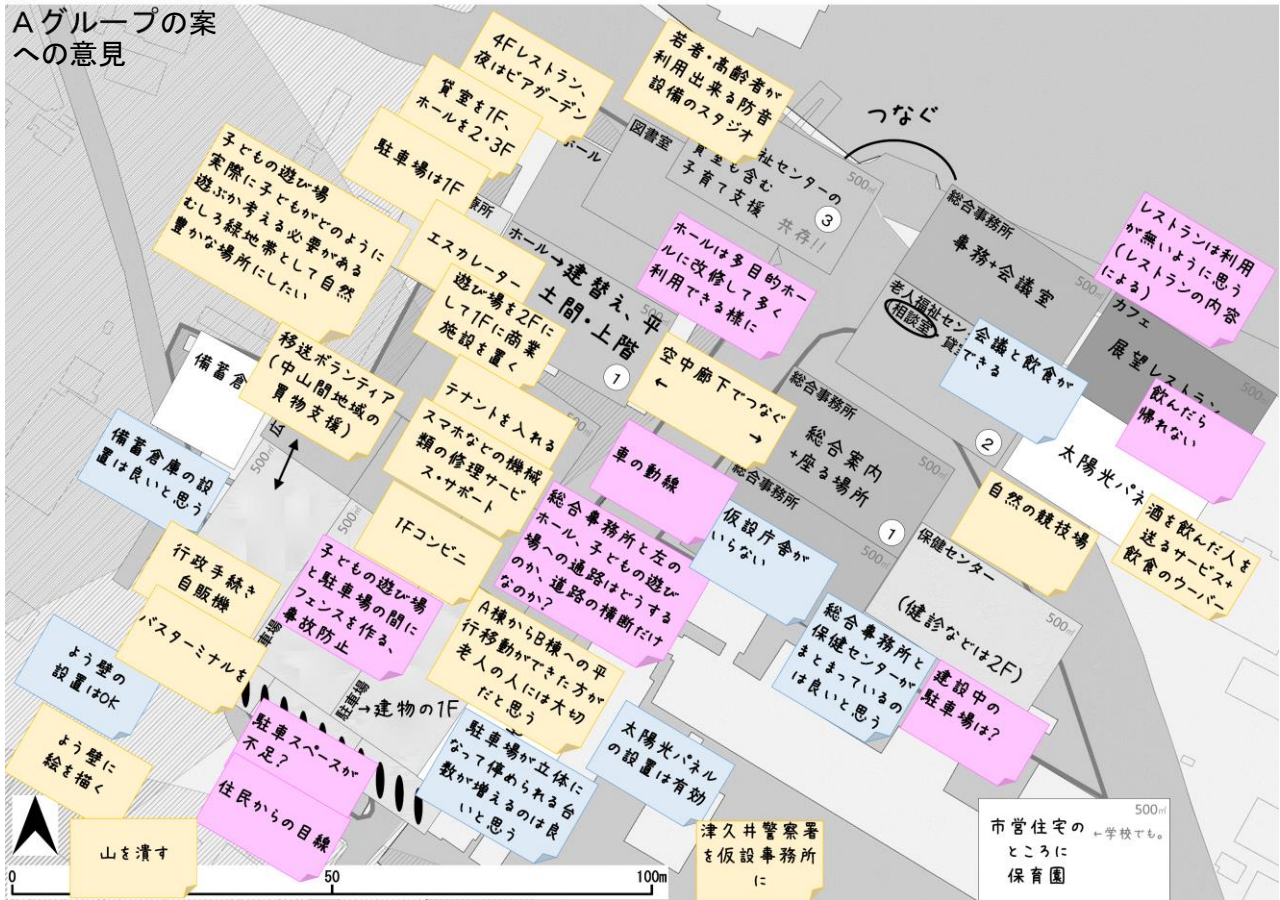
イ 各グループの成果

ワールドカフェの付せんの色

良いところ	気になるところ	新しいアイデア
-------	---------	---------

Aグループ

Aグループの案への意見

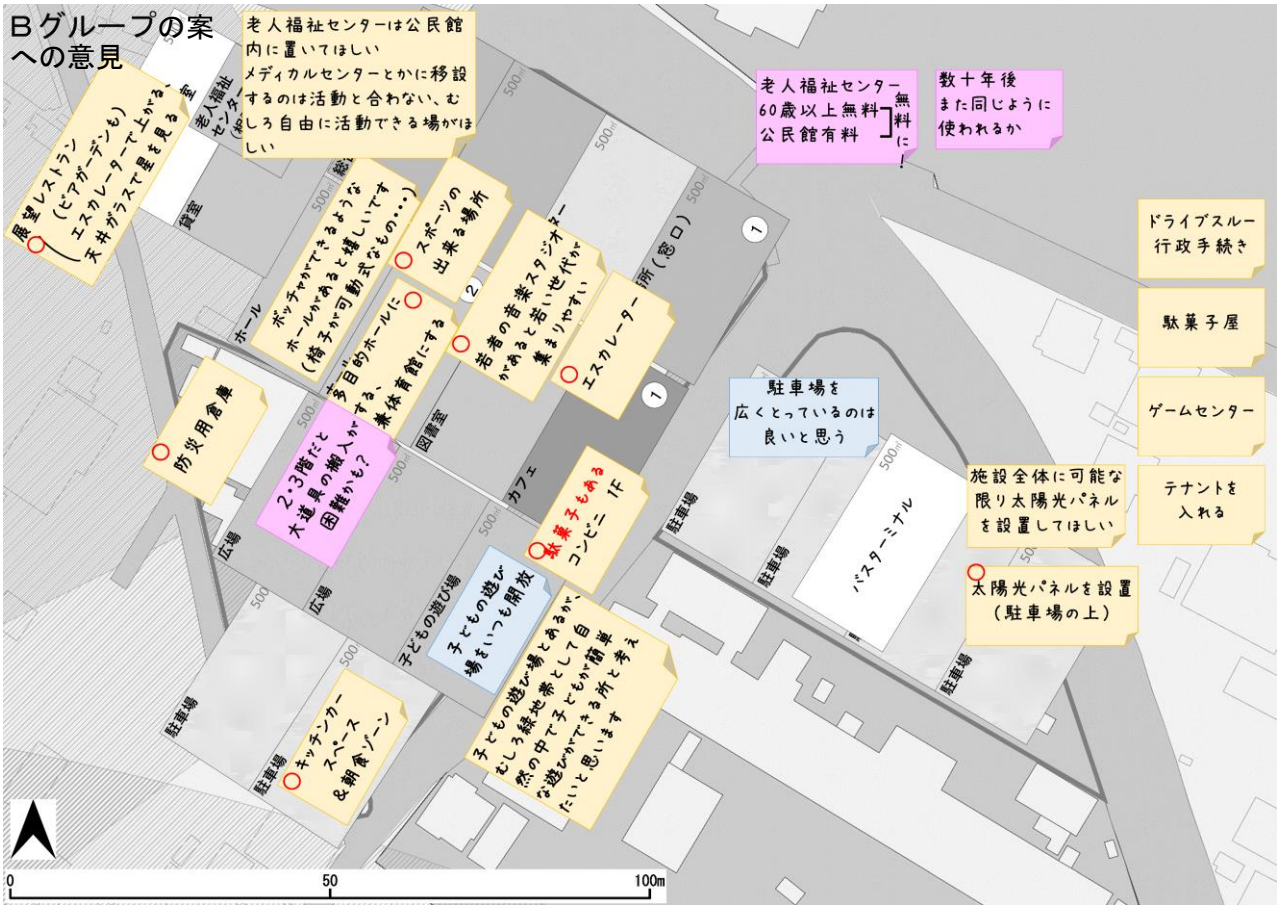


<主な発表内容>

- 公民館は、リノベーションではなく建替えとして、1階部分を駐車場にして、2・3階にフラットなホールを作り避難所としても活用できるようにする。
- 駐車場が少なくなるので、地下に駐車場を作って災害時にはシェルターにもできるようにする。
- 広場を山側にして施設との間に駐車場を配置することで、車の動線に配慮する。
- 現駐車場敷地に総合事務所を建てることで、行政サービスが途切れることなく整備できる。また、2つの建物をつなぐことで移動しやすいようにする。

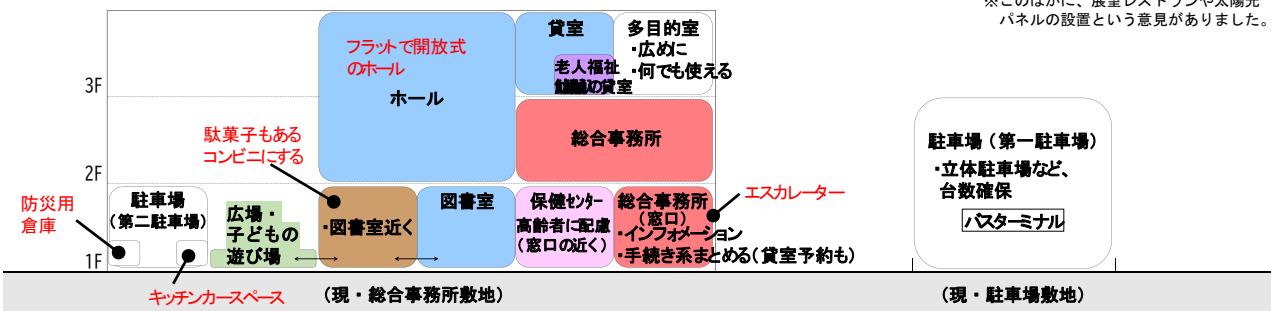
良いところ	気になるところ	新しいアイデア
-------	---------	---------

## Bグループ



赤字: 反映内容

※このほかに、展望レストランや太陽光パネルの設置という意見がありました。



### <主な発表内容>

- 基本的に当初の案はそのままとする。
- ホールはフラットの開放式とし、スポーツや音楽会にも活用できるようにする。
- カフェは業者確保が難しいと思ったので、駄菓子もあるコンビニがあると良いと考えた。
- キッチンカーのスペースを設けて軽食の取れる場所を新しく増やした。



## 第4回市民検討会のまとめ

### 〈志村先生〉

- 様々なアイデアがたくさん出ましたが、多くのアイデアを出すのがワールドカフェの目的なので、今日のワークは良かったと思います。
- 出た意見をまとめたり収斂<sup>しゅうれん</sup>させていくのは難しいことですが、どのアイデアを生かすか考えることもワールドカフェの目的の1つです。また、駄菓子屋機能など大切なアイデアが追加されて良かったと思いますが、もう少し津久井らしさを考えるのがポイントかなと思います。
- いろいろな機能をどうやって運営するか、収益はどうするか、民間企業との連携を考えてはどうかなどの意見も交わされていたことは良かったです。
- どうやって実現するか、運営はどうするか、本当に使うのか・使われるのか、改めて自分のこととして考えられると良いと思います。



### 〈朝日先生〉

- ワールドカフェの目的である案の深掘りができて良かったと思います。各班の意見を聞きつつも、心はこれまでのグループのままで、アイデアを取り入れて良い成果が出たと思います。
- これまでは機能というキーワードで利便性や動線などの意見が多かったですが、今回は音楽やスポーツ等の機能そのものについて、面積制約のある中で、同じスペースを多機能化できるかなど、検討が深まっていたと思います。
- どう運用していくか、将来の人口減少が進んだときに人の集め方や移動をどうするかなどの視点についてもお話があり、空間的な制約以外の話も出ていて良かったと思います。面積制約の中で実現を考える時に、他の施策ともつながるようなアイデアが出つつあると感じました。



## (5) 第5回市民検討会

- ◆ テーマ 「市民検討会の案を確認しよう！」
- ◆ 開催日時 令和5年2月18日(土) 14時00分～16時30分
- ◆ 開催場所 津久井保健センター2階 集団指導室
- ◆ 参加者 14名
- ◆ プログラム

時間	内容
14:00～14:15 (15分)	<あいさつ・市からの説明> ・有識者(志村教授・朝日教授)からのあいさつ ・本日のプログラム、市からの説明
14:15～14:35 (20分)	<第1回から第4回までの振り返り> ・みんなで会場に掲示しているこれまでの成果物を見て、 これまでの経過を振り返る
14:35～14:45 (10分)	<市民検討会の案の説明> ・これまでの市民検討会での意見を踏まえて整理した案の概要について
ワーク：ファシリテーター 芝浦工業大学建築学部建築学科 志村秀明 教授	
14:45～15:25 (40分)	<ポスターセッション>【市民検討会の案を確認しよう！】 ・ファシリテーターが流れを説明(5分) ・案に対し、付せんを使って意見を出し合う(35分)
15:25～15:35	<休憩>(10分)
15:35～15:45 (10分)	<発表> ・市職員が、案に対していただいた意見を発表
15:45～16:10 (25分)	<学生・参加者からひとこと> ・大学院生から活動のまとめとあいさつ(5分) ・感想や今後への期待のコメントをもらう(1分×20人)
16:10～16:20 (10分)	<市民検討会のまとめ> ・有識者(志村教授・朝日教授)からの講評とまとめ
16:20～16:30 (10分)	<連絡事項> ・今後の予定 ・アンケート記入・写真撮影

## ア 当日の流れ

### (ア) 第1回から第4回までの振り返り

第1回から第4回までの市民検討会で検討した内容を、掲示された成果物を見ながら振り返り、自分たちが検討した案を再確認しました。



### (イ) 市からの説明

これまでの内容を踏まえ市が整理した3つのイメージ案について説明しました。

【内容】	
案1	・現地で庁舎と市民活動施設を一つにまとめて建て替える
案2	・駐車場敷地に庁舎を建て替える ・現地で公民館を市民活動施設として建て替える
案3	・現地で庁舎とホール、図書室をまとめて建て替える ・保健センターを改修し、市民活動施設として利用する



### (ウ) ポスターセッション

ポスターセッションとは、研究した内容をまとめたポスター（今回は案のイメージ）の前で発表者が説明を行う発表方式です。

前回までの市民検討会における各グループの検討、基本方針との整合、技術的な視点を踏まえ市が整理した3つのイメージ案について説明を聞いた後で、各案に対する「気になるところ」や「どうしても実現してほしいこと」等を付せんを書いてポスターに貼り付けました。



### (エ) 芝浦工業大学学生からの発表

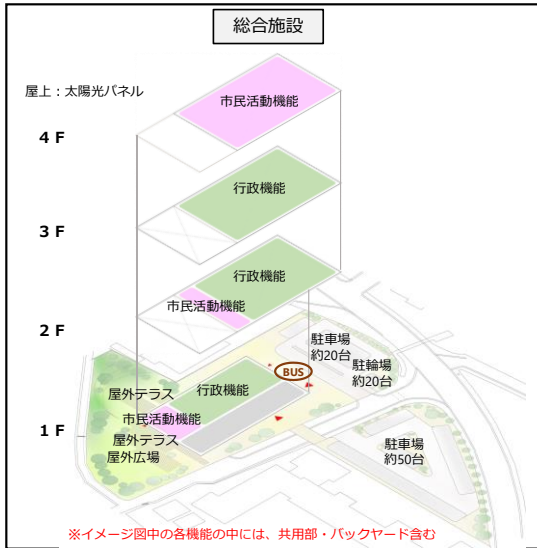
さがみ湖 森・モノづくり研究所 MORIMO さんから相模原市産の木材を提供していただき、大学研究室の本棚と目隠し壁を自主製作しました。



# イ ポスターセッションと成果発表

## 案1

・現地で庁舎と市民活動施設を一つにまとめて建て替える

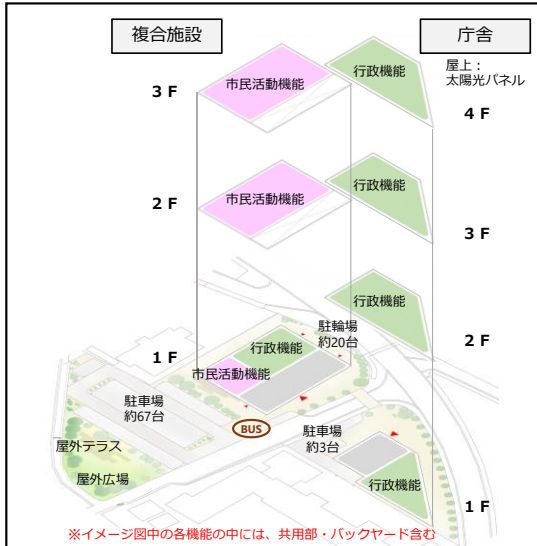


### 意見・アイデア

- ・4階から津久井湖が見えるスペースは是非欲しい。
- ・4階テラスは良い、津久井の景観が楽しめる。
- ・建物も自然とマッチするように曲線を使いたい。
- ・4階までわかりやすい動線を確保したい。
- ・建物が1棟だけになることによって管理などがしやすくなる。
- ・安全でコンパクトで利用しやすいと思う。
- ・バスロータリーにする方が良い。
- ・バスの動線が中側にあるとバスの出入りが大変ではないか。
- ・屋外広場でめぐりんずつくいと連携。
- ・2階、3階吹き抜け部分の壁を利用し、映写・掲示できるようにする。
- ・吹き抜けを活用できると良い。  
(冷暖房コストはかかるけど)
- ・広場で小学校などとの連携ができるかもしれない。
- ・災害時を考えた場合、20台の駐車場は屋外広場側にあった方が良いのではないかと。

## 案2

・駐車場敷地に庁舎を建て替える  
・現地で公民館を市民活動施設として建て替える

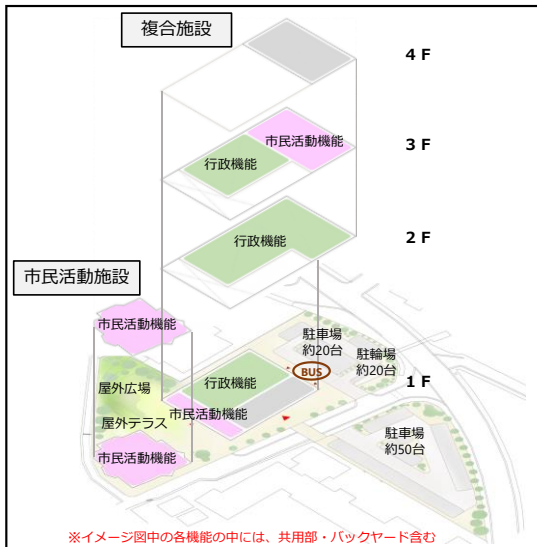


### 意見・アイデア

- ・バス停を現駐車場側へ、広場と市民活動機能はまとめた方が良い。
- ・広場と駐車場を入れ替えて、車のスピードを落とすような工夫を設ける。
- ・屋外広場の近くにカフェが欲しい。
- ・建物と広場が離れているから広場で問題があった時対応が遅れてしまうのではないかと。
- ・建物が2つに分かれているので移動が大変、危険。
- ・横浜水道のモニュメントを他へ移動する。  
(たとえば観光センターへ)
- ・市民活動機能がほぼ2階と3階なので、移動が大変な気がする。
- ・新庁舎と市民活動施設を一つの建物とし、今ある道路を西側に付け替える。

## 案3

・現地で庁舎とホール、図書室をまとめて建て替える  
・保健センターを改修し、市民活動施設として利用する



### 意見・アイデア

- ・4階にテラスやカフェを設けてほしい。
- ・保健センターについては将来建て替えが生じる等の理由から、リノベーションはしない方が良い。
- ・建物は将来的には1棟にしたい。
- ・なるべく現在のものを使うのはコスト的にも環境にも良いが、ランニングコストとのバランスが心配。
- ・曲線などを使った建物で自然とマッチさせる。
- ・かなり使いやすい配置になってる。
- ・広場の近くにカフェ、遊具が欲しい。
- ・子どもも大人も利用できる、体を動かせる場があると良い。
- ・現保健センターを広場に開けたデザインにしたい。
- ・路線バスを引き込めたら良い。
- ・ホールは多人数で使うので、エレベーターは大きく、もしくは複数台とし、ホール定員300人は欲しい。

3案共通：駐車場台数が少ないのではないかと。



## ウ 参加者全員からひとこと

<p>津久井らしさをどうやって出すか、ハードにどうやって落とし込めるのかが大事だと思いました。目的がなくてもただ来る人も大切であり、話ができるゆとりある場所があると良いと思いました。</p>
<p>自分は意見をあまり言うことができませんでしたが、良い経験になったのでとても良かったです。</p>
<p>来月で後期高齢者になります。建物ができるまで死ぬわけにいかないとつくづく思っています。</p>
<p>自分の出した意見がこんなに反映されるとは思いませんでした。実感が持てました。大人になった時に新しい施設を使っていきたいし、建つのが楽しみになりました。</p>
<p>若い皆さんの意見や学生の意見を聞くと、私たちの考えている公共機関と若い人が考えるものが違っていて勉強になりました。</p>
<p>今回参加して、いろいろな意見があり、皆さんが使い勝手や便利さなどいろいろ考えていることを感じました。いかに地域で施設が親しまれるものになるかを考えていることを強く感じました。</p>
<p>こういう市民検討会があるのは今回初めて知りました。 みんなが使いやすい、市民が中心となる建物ができればとの思いがあり、参加した意味があったと思います。</p>
<p>皆さんに温かく教えていただいて、自分もまちづくりに関心を持って話し合いに参加できました。地元なので、将来さらに良いまちになるように頑張っていきたいです。</p>
<p>皆さんの意見を聞いていると、嬉しくて泣きそうになってきます。私も皆さんに負けなように津久井を愛していこうと思いました。</p>
<p>普段から地域活動を行ったりしていろいろな意見を出させてもらいましたが、今回は非常に楽しい集まりでした。 新しい施設は舞台であり、使う人によって良くも悪くもなるので、地域連携の場になれば良いと思います。</p>
<p>これからも津久井に住み続けたいし、住みやすい地域になると良いなと思っています。</p>
<p>ホールや諸室の広さが一番気になる点でした。図書室の勉強スペースが少ないため、本を読んだり勉強したりできるスペースができれば良いと思います。</p>
<p>若い人が一生懸命発言されていました。どこまで実現されるか、まとまった時にまた参加させていただければありがたいです。</p>
<p>はじめはブランコとか大きい滑り台とか変わった意見もあったけど、進むにつれて具体的な案になっていき、良い経験になりました。</p>

## 第5回市民検討会のまとめ

### 〈志村先生〉

- 市民検討会は、高校生から大学生、地域の方々など、様々な年代の皆さんと一緒に考える良い機会だったと思います。お互いのことがよくわかる貴重な機会であり、今後もこのような機会はあると思いますので、引き続き、積極的に参加してほしいと思います。
- 今日市が整理した3つの案の説明とそれに対する意見をもらいました。市民検討会では多くのアイデアが出ましたが、取りこぼしがちになってしまうところもあります。例えば尾崎琴堂に関する展示や、あぐりんずつくいとの連携などたくさんの意見がありました。
- 公共施設の再編で、すぐに全てのアイデアの実現はできないと思いますが、是非今後も見守っていただいて、少しでも多くのことが実現できるように、皆さんも考えて、行動していただければと思っています。



### 〈朝日先生〉

- 今回の市民検討会は多面的な構成でとても良い議論ができたと思いました。場所や機能にフォーカスしたかと思えば、別の観点からの見方を学生が提示したり、バランス良く、集中していろいろ話せる機会になったと思います。
- 今までの「場所」は、何かをしに行くための場所であり、目的が存在していましたが、これからは目的がなくても居られる場所・集まれる場所も求められていると思います。皆さんの意見を聞いて、本当に色々なニーズがあると感じました。
- これから基本構想を作っていくにあたり、多様な人が居ていい、居られる、居たい場所にするために、様々な機能の枠、行政と民間の枠などを外していき、共存していくことを盛り込んでもらいたいと思います。



## 市長からのあいさつ

- 第5回を迎えた市民検討会に、若い方からシニア世代まで幅広く、多種多様な皆さまに参加していただき感謝しています。皆さまの様々な意見を伝えていただき、次の世代の子どもたち、孫の世代へ、津久井地域に希望のたすきをつないでいきたいと思っています。
- 本市は現在、“子育てするなら相模原”、“起業するなら相模原”、“第三の人生を楽しむなら相模原”と、多くの皆さまに選んでいただけるまちづくりを進めています。
- 都市と自然のベストミックスと言われる津久井地域の拠点である、津久井総合事務所周辺の再整備に向け、皆さまのお力添えをいただきたいと思います。



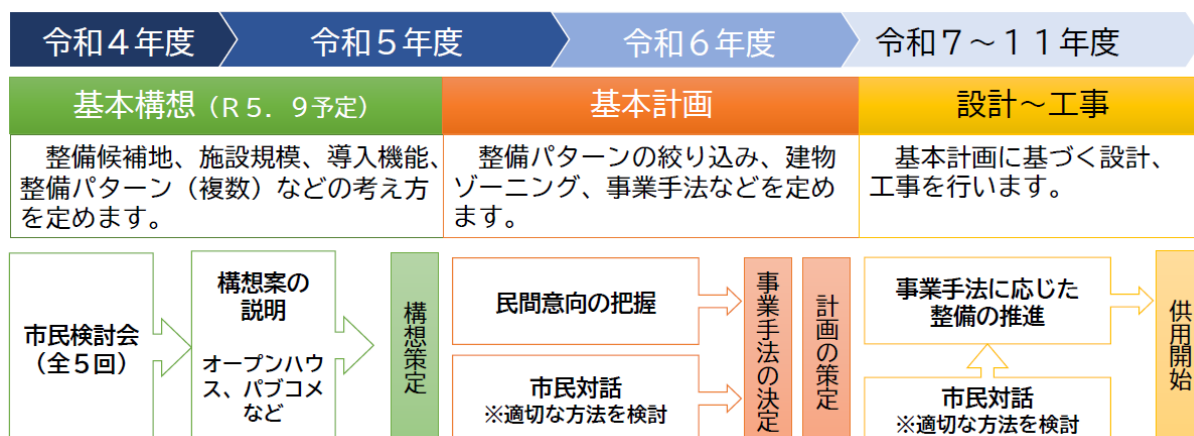
### 3. 市民検討会を終えて

今後は、令和4年8月に策定した「津久井総合事務所周辺公共施設再整備基本方針」や、市民検討会の意見を踏まえ、令和5年度のできるだけ早期に基本構想（案）をまとめます。

基本構想（案）は、市民検討会などへの説明のほか、オープンハウスの実施など、より多くの方に知っていただき、意見をいただく機会を設けた上で、基本構想として策定します。

基本構想策定後も、各段階に応じた市民対話などを重ねながら、令和11年度の供用開始に向けた取組を進めていきます。

#### <事業全体のスケジュール>



※今後の検討状況等により、スケジュールは変更となる場合があります。